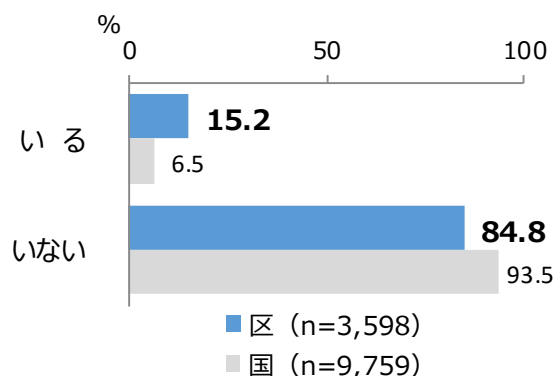


近年、社会問題として認識されているヤングケアラーについて、本区の実態を把握し、支援体制強化の基礎資料とするため、区内の実態調査を行いました。※調査概要は最終ページをご覧ください。

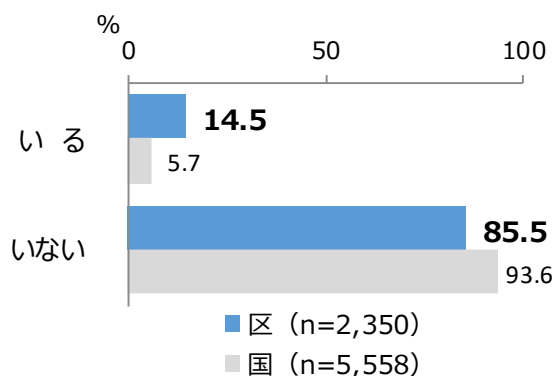
### お世話をしている家族の有無

家族のお世話をしている割合は、小学6年生で15.2%、  
中学2年生で14.5%、高校2年生世代で3.5%

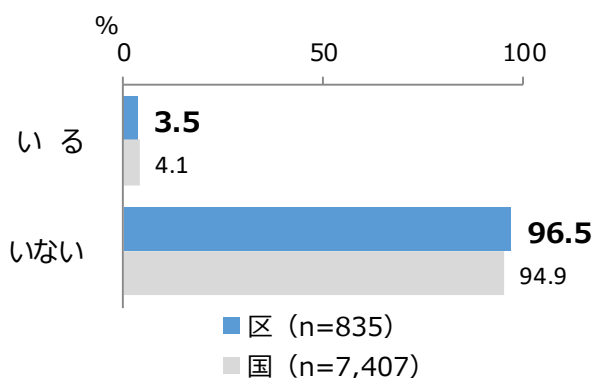
#### ■ 小学6年生



#### ■ 中学2年生



#### ■ 高校2年生世代



- 家族のお世話をしている割合は、小学6年生で15.2%、中学2年生で14.5%、高校2年生世代で3.5%となっている。
- 国の調査結果と比較すると、家族のお世話をしている割合は、小学6年生で区が国よりも8.7ポイント、中学2年生で区が国よりも8.8ポイント高くなっている。高校2年生世代では、大きな差異はみられなかった。

※小学6年生の国の結果は、厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和4年3月）、中学2年生、高校2年生世代の国の結果は、厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和3年3月）にて公表されている結果である。

**!** 国の調査は、本調査と調査対象者の抽出方法や調査の実施時期、調査の依頼方法等が異なるため、その点を留意した上で比較する必要がある。

ヤングケアラーの実態について

P2~5へ➡

ヤングケアラーの特徴について

P6~7へ➡

ヤングケアラーが求めていること

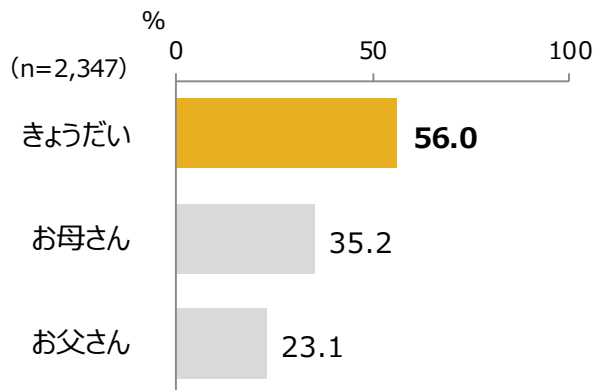
P8へ➡

# 1 | ヤングケアラーの実態について

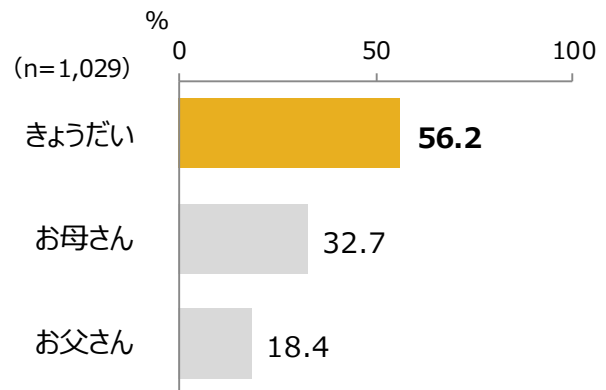
お世話を必要  
としている家族  
【上位3項目】

お世話を必要としている家族は、  
年齢に関わらず「きょうだい」が多い

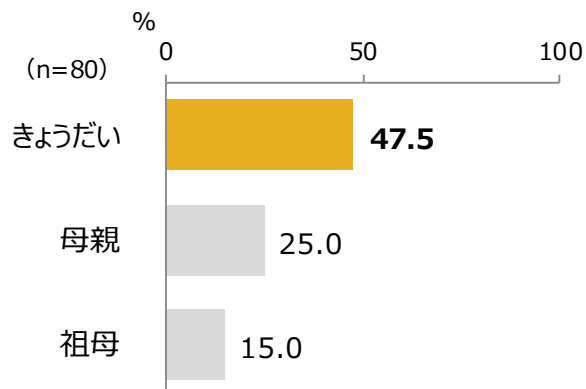
## 小学生



## 中学生



## 高校生等世代

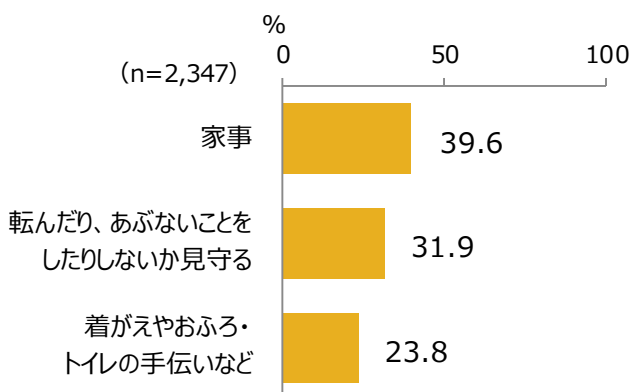


- お世話を必要としている家族（上位3項目）は、年齢に関わらず「きょうだい」が最も高く、小学生で 56.0%、中学生で 56.2%、高校生等世代で 47.5%となっている。
- 小中学生は、「きょうだい」に次いで「お母さん」、「お父さん」が高くなっているが、高校生等世代では、「母親」、「祖母」が高くなっている。

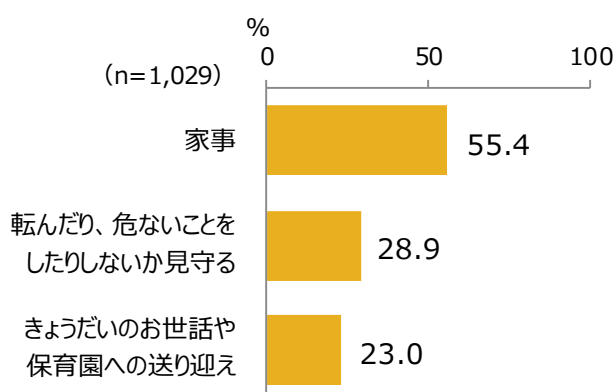
お世話の内容  
【上位3項目】

お世話の内容は、年齢に関わらず「家事」が多く、  
きょうだいのお世話に関する内容も多い

小学生

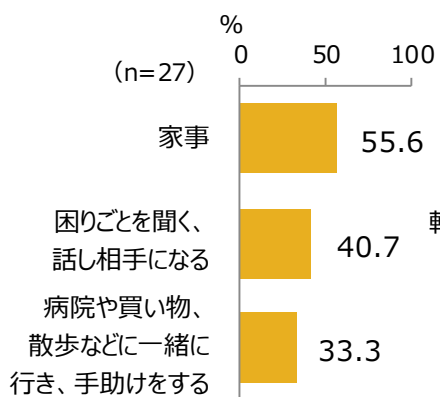


中学生

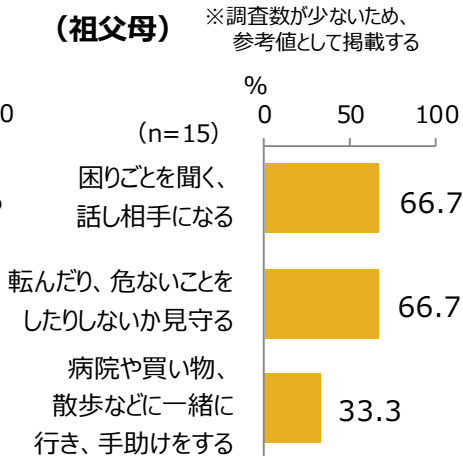


高校生等世代

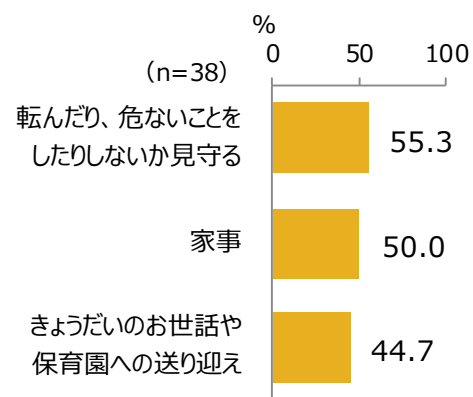
(父母)



(祖父母)



(きょうだい)



- お世話の内容（上位3項目）は、小中学生で「家事」が最も高くなっている。高校生等世代においても、父母のお世話の内容では、「家事」が最も高く、きょうだいのお世話の内容でも「家事」が二番目に高くなっている。
- 年齢に関わらず、お世話を必要としている家族は「きょうだい」が多いことから、お世話の内容においても、「転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る」、「きょうだいのお世話や保育園への送り迎え」など、きょうだいのお世話に関する内容が高くなっている。

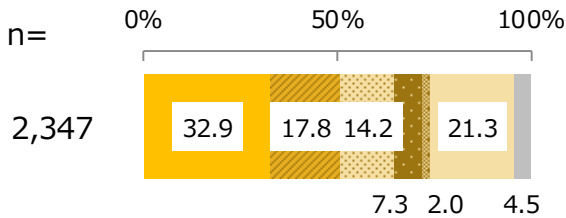
# 1 | ヤングケアラーの実態について

## お世話の頻度

お世話の頻度は、年齢に関わらず「ほとんど毎日」が多い

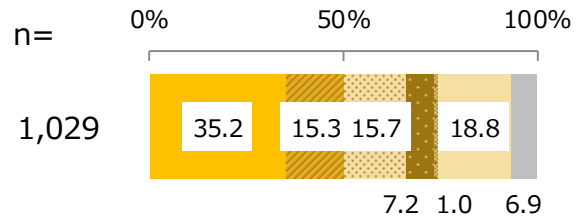
### 小学生

- ほとんど毎日
- 1週間に3～5日
- 1週間に1～2日
- 1か月に数日
- その他
- わからない
- 無回答



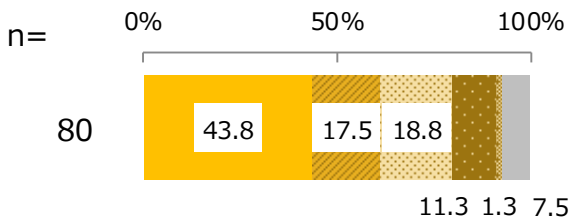
### 中学生

- ほとんど毎日
- 1週間に3～5日
- 1週間に1～2日
- 1か月に数日
- その他
- わからない
- 無回答



### 高校生等世代

- ほとんど毎日
- 1週間に3～5日
- 1週間に1～2日
- 1か月に数日
- その他
- 無回答

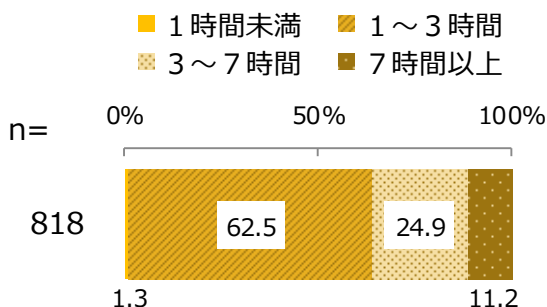


- お世話の頻度は、年齢に関わらず「ほとんど毎日」が最も高く、小学生で 32.9%、中学生で 35.2%、高校生等世代で 43.8%となっている。

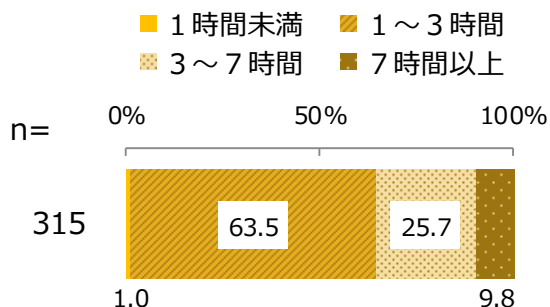
1日あたりに  
お世話に  
費やす時間

1日あたりにお世話に費やす時間は、  
年齢に関わらず3時間未満が6割を占めている

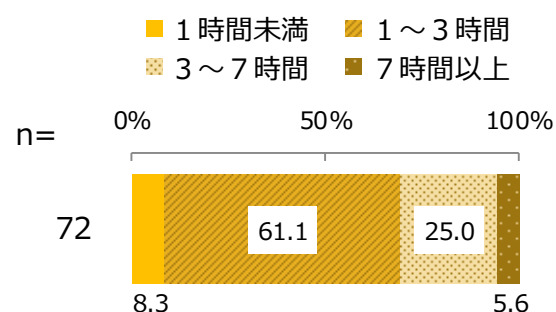
小学生



中学生



高校生等世代 (平日の回答結果を掲載)

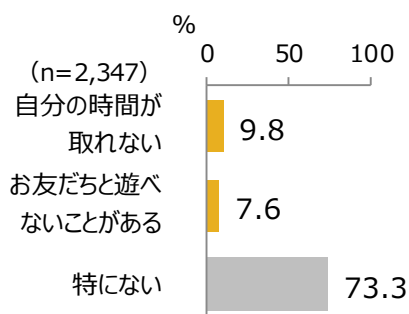


● 1日あたりにお世話に費やす時間は、年齢に関わらず「1時間未満」、「1～3時間」の合計でいずれも60%台となっている。

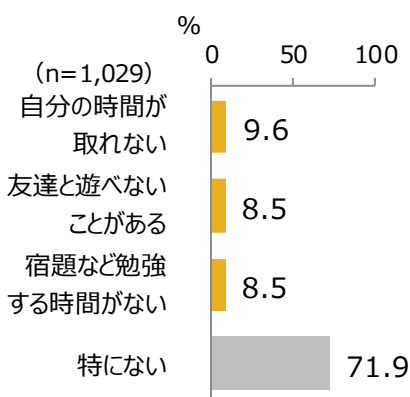
お世話による制約  
【上位2項目+「特にない」】

お世話による制約は、年齢に関わらず「特にない」が最も多いが、困り事としては「自分の時間がとれない」、「友達と遊べないことがある」が多い

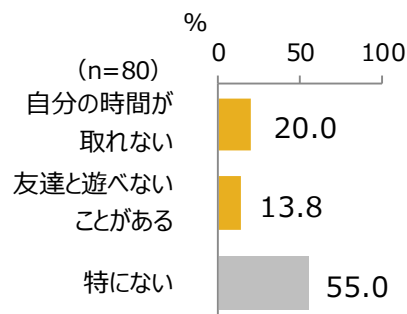
小学生



中学生



高校生等世代



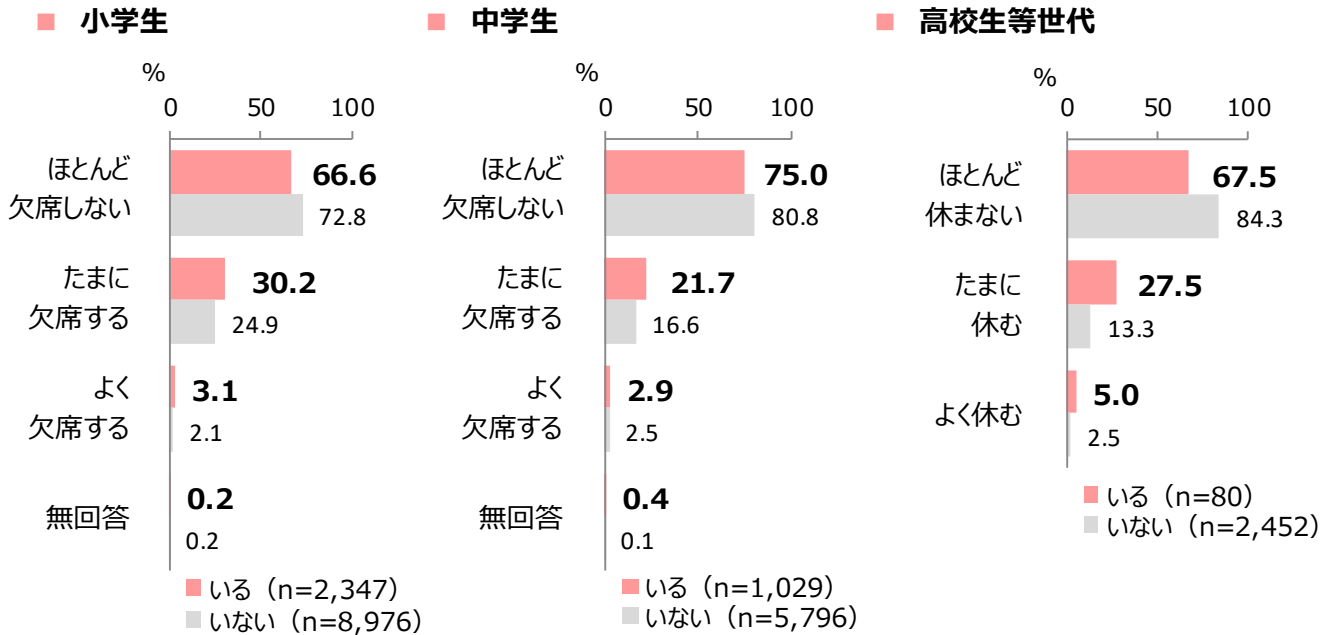
● お世話による制約は、年齢に関わらず「特にない」が最も高くなっているが、具体的な内容では、「自分の時間がとれない」、「友達と遊べないことがある」が高くなっている。

## 2 | ヤングケアラーの特徴について

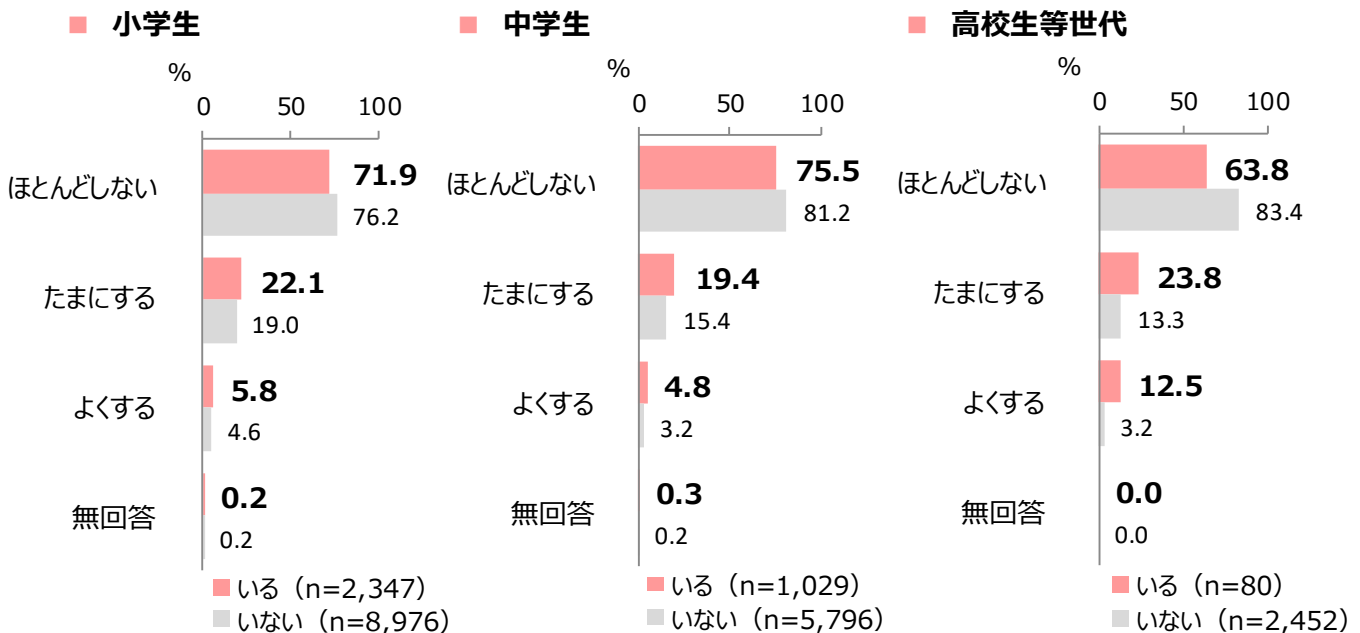
### 通学・通勤の 状況

家族のお世話をしている人ほど、欠席・休みや遅刻・早退をする傾向がみられる

#### 【出欠状況】



#### 【遅刻・早退の状況】

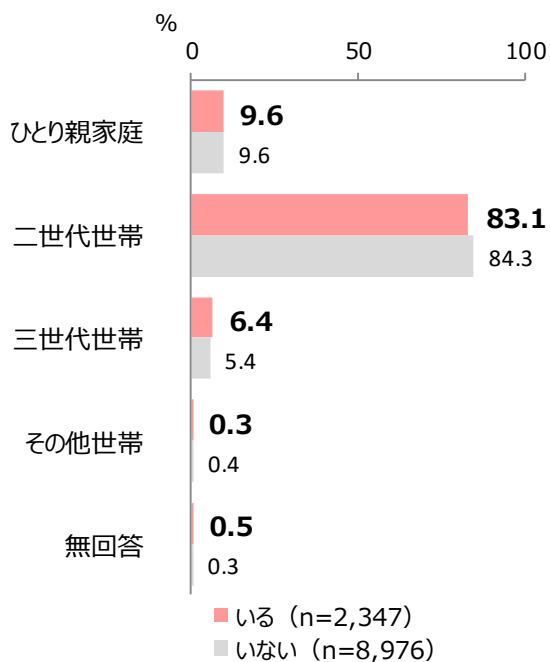


- 出欠状況をお世話をしている家族の有無別でみると、年齢に関わらず「ほとんど欠席しない（休まない）」ではお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも低く、「たまに欠席する（休む）」ではお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも高くなっている。
- 遅刻・早退の状況をお世話をしている家族の有無別でみると、年齢に関わらず「ほとんどしない」ではお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも低く、「たまにする」ではお世話をしている家族が“いる”が“いない”よりも高くなっている。

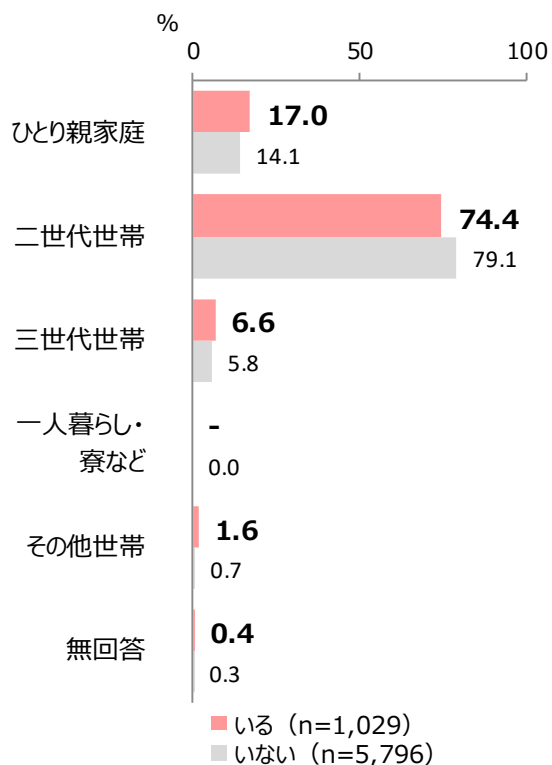
## 家族構成

家族構成は、小中学生でお世話をしている家族の有無による差はみられないが、高校生等世代では差がみられる

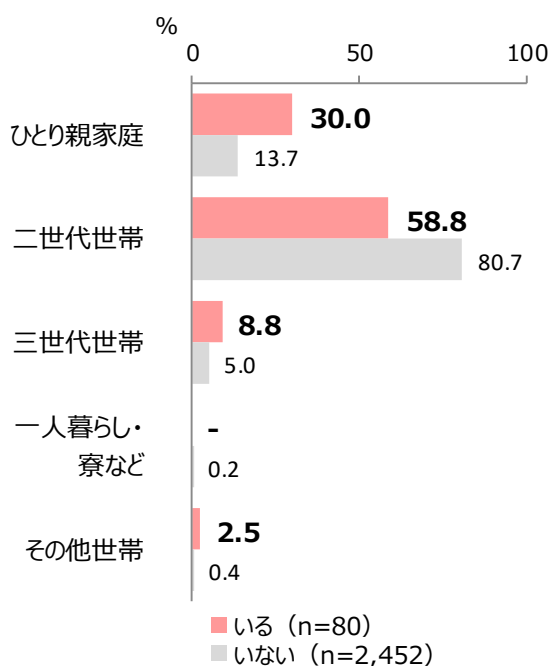
### 小学生



### 中学生



### 高校生等世代



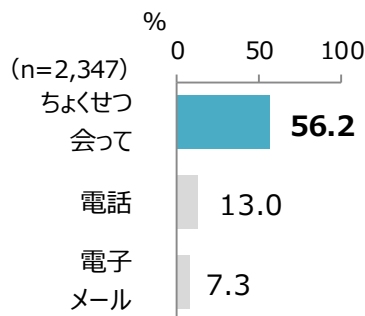
- 家族構成をお世話をしている家族の有無でみると、小中学生で大きな差異はみられない。
- 高校生等世代では、「ひとり親家庭」はお世話をしている家族が「いない」よりも16.3ポイント高く、「二世帯世帯」はお世話をしている家族が「いない」が「いる」よりも21.9ポイント高くなっている。

### 3 | ヤングケアラーが求めていること

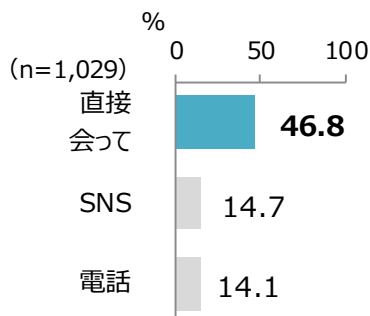
#### 希望する 相談方法 【上位3項目】

希望する相談方法は、  
年齢に関わらず「直接会って」が多い

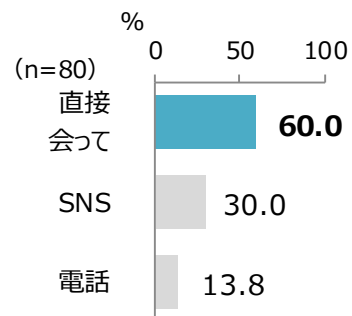
##### 小学生



##### 中学生



##### 高校生等世代

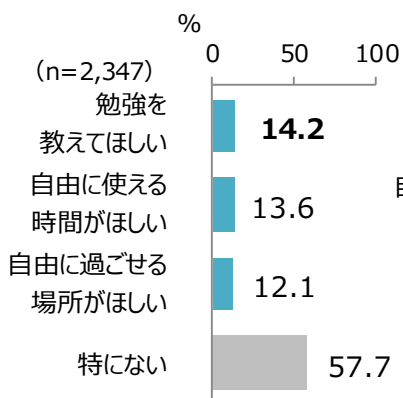


- 希望する相談方法は、年齢に関わらず「直接会って」が最も高くなっている。

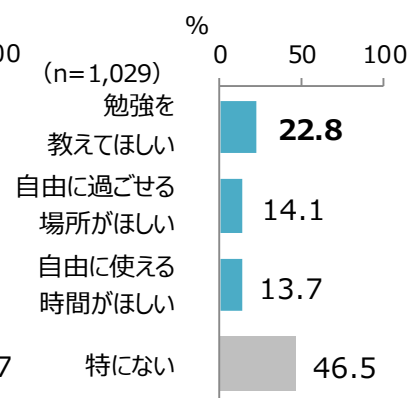
#### 学校や大人にして もらいたいこと 【上位3項目+「特にない」】

学校や大人にしてもらいたいことは、  
「勉強を教えてほしい」、「自由に使える時間がほ  
しい」、「自由に過ごせる場所がほしい」が多い

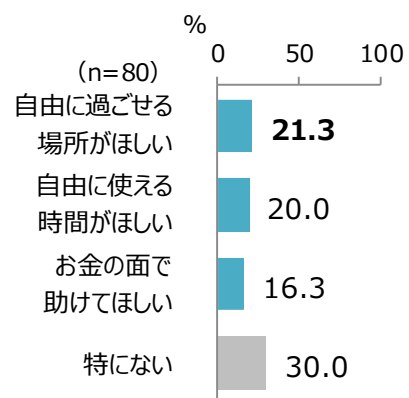
##### 小学生



##### 中学生



##### 高校生等世代



- 学校や大人にしてもらいたいことは、年齢に関わらず「特にない」が最も高くなっているが、具体的な内容では、小中学生で「勉強を教えてほしい」が最も高くなっている。
- 年齢に関わらず、「自由に使える時間がほしい」、「自由に過ごせる場所がほしい」も高くなっている。

#### 【調査概要】

- 調査対象者 ① 区立小学校および義務教育学校（前期課程）に在籍する小学4～6年生の児童 12,525人  
② 区立中学校および義務教育学校（後期課程）に在籍する全生徒 8,435人  
③ 区内に住民登録のある高校生等（15～18歳） 11,821人
- 調査期間 ①② 令和5年1月12日（木）から2月28日（火） ③ 令和5年1月12日（木）から2月25日（土）
- 調査方法 ①② 回答入力フォームのURLを学校を通して配付。区貸与の1人1台端末を活用したWeb上での回答を基本とし、学級時間等を利用して調査を実施  
③ 回答入力フォームのURLを郵送、Web上での回答を基本とし、調査を実施
- 回収件数（回収率） ① 11,323件（90.4%） ② 6,825件（80.9%） ③ 2,532件（21.4%）

#### 江東区ヤングケアラー実態調査 報告書 概要版

令和5年3月

編集発行 江東区教育委員会事務局 庶務課

江東区東陽四丁目1番28号

電話（3647）9111（大代表）